2026　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	理学療法士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	倫理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期　火曜2限	教室名	普通教室
担 当 教 員	稲村 秀一	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

倫理学の学的立場と現代における課題を展望する。その後で、倫理学の諸問題を考察する。特に、医療現場において出会う倫理的テーマ(「他者理解の方法」「価値論」「恥と良心」「愛の秩序」「生命倫理」)を取り上げる。

《成績評価の方法と基準》

レポート(30%)　筆記試験(70%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

必要な資料は授業中に配布する。

《授業外における学習方法》

授業で出された配布資料の内容を確認し、ファイルを整理すること。

《履修に当たっての留意点》

基礎分野の設定意図を考えて受講すること。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	現代社会の倫理的諸問題を取り上げて、それを生み出している人間の倫理的課題を考察する。倫理・エートスの意味を紹介する。	配布資料	【事前学習】シラバスを読む(10分) 【事後学習】倫理の語義と課題についてファイル整理と内容確認(50分)
		各コマにおける授業予定	序論　(1)現代社会と人間の問題 (2)倫理の語義と課題		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	日常生活の人間関係における最も重要で不可欠な課題は「いかにして他者を理解するか」である。人間の存在構造の観点から考察する。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認(10分) 【事後学習】他者理解論についてファイル整理と内容確認(50分)
		各コマにおける授業予定	第1章　他者理解論について (1)現代人間論における人間の構造		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	現代の他者理解論の「四つの立場」を検討して、その特質と限界を指摘し、この限界を解決する現代の「対話と出会い」について考える。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認(10分) 【事後学習】他者理解のファイル整理と内容確認(50分)
		各コマにおける授業予定	(2)他者＜理解＞の四つの立場 (3)他者理解の第5の立場―対話と出会		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	われわれは毎日、「どちらを選ぶか」という価値選択の前に立たされている。価値(ねうち)の高い低いの基準とはなにかを明確にする。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認(10分) 【事後学習】価値序列の法則についてファイル整理と内容確認(50分)
		各コマにおける授業予定	第2章　価値について (1)価値序列の法則		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	善悪という倫理的価値判断には「好き嫌い(愛憎)」が作用する。そこでは、正しい価値判断を意図的にしない現象も起こることを指摘。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認(10分) 【事後学習】ルサンチマン論についてファイル整理と内容確認(50分)
		各コマにおける授業予定	(2)倫理的価値と愛と憎 (3)ルサンチマン論		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本の文化を「恥」の文化であり、西洋の文化は「罪」の文化であると言われているが、それはどのようなことであるかを明確にする。	配布資料	【事前学習】配布資料の確認（10分） 【事後学習】恥と良心についてファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	第3章　恥と良心について （1）恥の文化と罪の文化		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本人の考え方や生き方の中心にみられる「恥」の意識には、三形態がある、その三形態を具体例を挙げながら明らかにする。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】恥の三形態についてファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	（2）恥の三形態 （公恥、自恥、羞恥）		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	善悪の価値判断を下すのは「良心」の声であるが、その声の出所には三段階がある。われわれの生活を反省しながら、分析してゆく。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】良心の三段階についてファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	（3）良心の三段階 （社会的良心、倫理的良心、宗教的良心）		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	「愛とはなにか」を根本から考える。＜愛の作用＞と、＜愛の情念＞の区別、＜命＞としての愛、関係力・責任としての愛などについて考察。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】愛の秩序についてファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	第4章　愛の秩序について （1）愛の本質とは		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	西洋思想における愛の三形態を取り上げて、日本人の＜愛の思想＞を反省してみる。ます、エロースとフィリアの愛についてまとめる。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】エロース、フィリアについてファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	（2）愛の形態1 （エロース、フィリア）		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	次に、キリスト教思想におけるアガペー愛について考察し、現代のわれわれは何を学ぶべきかを検討する。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】アガペーについてファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	（3）愛の形態2 （アガペー）		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己と他者の＜間＞の対話的関係である愛が具体的に実現する次元（領域）を四次元に分けて明らかにして行く。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】本日のファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	（4）愛における出会いの四次元 （身体的、感情的、精神的、人格的）		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	「生きる」ことの意味の多様性を区別し、「人間らしく生きる」とはどのようなことであるかを深く理解する観点を学ぶ。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】いのちと倫理についてファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	第5章　いのちと倫理 （1）「生命」と「いのち」と「生きる」		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間は五次元（五層）から成り立っているので、それぞれの次元における「生」と「死」を明らかにし、「人間らしく生きる」ことを解明する、	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】生と死についてファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	（2）人間存在の五次元における「生と死」 （3）脳死・臓器移植・出生診断などについて		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療の現場における倫理的問題（安楽死・尊厳死）を考察する。最後に、「死と永遠性」という宗教的問題への関心を促したい。	配布資料	【事前学習】配布済資料の確認（10分） 【事後学習】授業全体のファイル整理と内容確認（50分）
		各コマにおける授業予定	（4）安楽死・尊厳死などについて （5）「死」と「永遠のいのち」について		